

# アルファ・ウイン 企業調査レポート

## デジタルメディアプロフェッショナル

(3652 東証マザーズ) 発行日：2019/2/25

アルファ・ウイン 調査部  
<http://www.awincap.com/>

### ● 決算速報

#### ◆ グラフィックス技術に特化した研究開発型ファブレス半導体ベンダー

・デジタルメディアプロフェッショナル（以下、同社）は、同社が独自に開発したグラフィックス技術をライセンス供与、またはこれを組み込んだ LSI 製品の生産を外部委託し販売する研究開発型ファブレス半導体ベンダーである。

#### ◆ 2019 年 3 月期第 3 四半期決算

- ・同社の 2019/3 期第 3 四半期累計（以下、3Q）業績は、売上高 493 百万円（前年同期比 21.3%減）、営業損失 53 百万円（前年同期利益 40 百万円）、経常損失 49 百万円（同 43 百万円）、四半期純損失 49 百万円（同 86 百万円）であった。
- ・事業別売上高は以下の通りである。
  1. IP コアライセンス事業は 177 百万円（前年同期比 39.2%減）。人工知能(AI) 技術を活用した動画画像認識を行う「ZIA Classifier」の新規ライセンス契約による売上計上があったものの、特にゲーム機の既存顧客向けランニングロイヤリティ収入が落ち込んだことが影響した。
  2. LSI 製品事業は 21 百万円（同 90.9%増）。2018 年 7 月~9 月期から販売を開始した組込み機器向け AI FPGA（書換え可能な論理回路 LSI）モジュール「ZIA C3」が 2018 年 10 月~12 月期で売上計上となり貢献した。アミューズメント業界向け画像処理プロセッサ「RS1」の売上計上はない。
  3. その他の事業は 294 百万円（同 9.0%減）。新規顧客の車載向け AI 関連の受託開発に加え、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）向け受託開発の売上計上があった。
- ・採算性の高い IP コアライセンス事業の減収が大きく影響し、売上総利益率は前年同期比 15.2%ポイント低い 51.5%であった。アミューズメント業界向け画像処理プロセッサ「RS1」の研究開発終了により研究開発費が前年同期の 160 百万円から 54 百万円へと縮小したため、販売費及び一般管理費（以下、販管費）は 307 百万円（前年同期比 18.6%減）であった。販管費減となったものの売上総利益率の低下から、営業損失 53 百万円の計上となった。また、為替差益等の計上により経常損失は 49 百万円と営業損失幅に比べより小幅となった。
- ・3Q 末総資産は主に売掛金、減価償却による有形固定資産及びソフトウェアの減少等により 2,015 万円（前期末比 105 百万円減）となった。自己資本は譲渡制限付株式の発行等により前期末比 43 百万円増加し 1,913 百万円となり、自己資本比率は同 6.7%ポイント上昇し 94.9%であった。

#### ◆ 2019 年 3 月期業績予想は据置き

- ・同社は 2019/3 期業績について、売上高 1,200 百万円（前期比 23.2%増）、営業利益 100 百万円（同 43.3%増）、経常利益 100 百万円（同 50.6%増）当期純利益 90 百万円（同 17.6%減）とする期初予想を据え置いた。
- ・LSI 製品事業は 2019 年 1 月~3 月期に「RS1」の出荷が見込まれており、前期売上高（150 百万円）を大きく上回る見通し。IP コアライセンス事業においても、新規ライセンスの売上計上等が期待されており、3Q までの売上低迷から復調に向かおう。

### ショートレポート

1/3

アルファ・ウイン企業調査レポート(以下、本レポート)は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社(以下、弊社)が企業内容の説明を目的に作成したもので、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。弊社は、本レポートの配信に関して閲覧した投資家の皆様の本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。また、本件に関する知的所有権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

- ・アルファ・ウイン調査部（以下、当調査部）の2019/3期予想は従来予想を踏襲し、売上高1,200百万円（前期比23.2%増）、営業利益200百万円（同186.6%増）を予想する。営業利益予想において同社予想との相違があるのは、販管費予想の差異と思われる。
- ・当調査部の2020/3期予想は従来予想を踏襲する。同社がNEDOから受託している案件は、2年の延長が決まっているものの政府の来年度予算次第のところもあり規模は不明である。また、2020/3期からは売上計上ではなく営業外収益での助成金収入となるが、当調査部予想には織り込んでいない。

【3652 デジタルメディアプロフェッショナル 業種：情報・通信業】 図表 A

決算期		売上高	前期比	営業利益	前期比	経常利益	前期比	純利益	前期比	EPS	BPS	配当金
		(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(円)	(円)	(円)
2017/3	通期	694	-5.4	-263	-	-262	-	-365	-	-134.37	609.89	0.0
2018/3	通期	973	40.3	69	-	66	-	109	-	39.64	671.93	0.0
2019/3	通期CE	1,200	23.2	100	43.3	100	50.6	90	-17.6	32.14	-	0.0
2019/3	通期E	1,200	23.2	200	186.6	200	201.2	180	64.8	64.22	730.65	0.0
2020/3	通期E	1,400	20.0	260	30.0	260	30.0	230	27.8	81.81	810.25	0.0
2019/3	1Q	137	-2.2	-52	-	-47	-	-47	-	-16.96	663.66	-
2019/3	2Q	351	-20.6	-17	-	-8	-	-8	-	-3.14	677.73	0.0
2019/3	3Q	493	-21.3	-53	-	-49	-	-49	-	-17.77	680.56	-

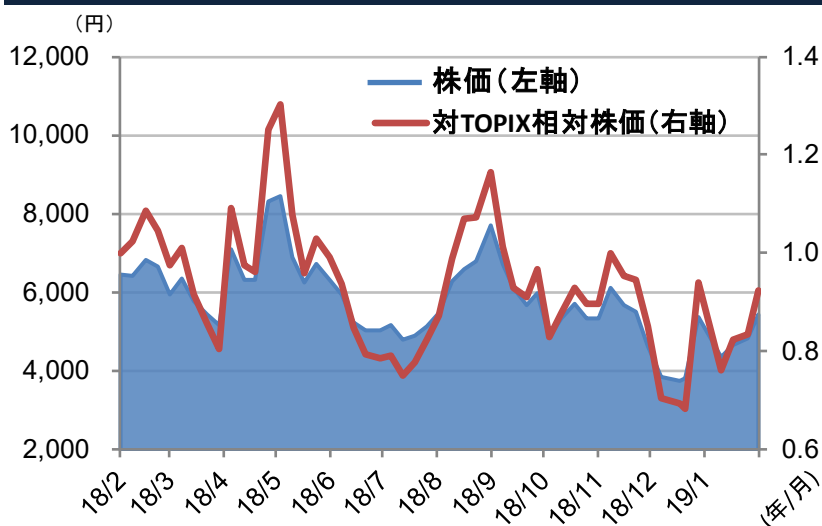
(注)CE:会社予想、E:アルファ・ウイン調査部予想、2Q及び3Qは累計会計期間

【株価・バリュエーション指標：3652 デジタルメディアプロフェッショナル】 図表 B

項目	2019/2/22	項目	PER (倍)	PBR (倍)	配当利回り	配当性向
株 価 (円)	5,440	前期実績	137.2	8.1	—	—
発行済株式数 (千株)	2,801	今期予想	84.7	7.4	—	—
時価総額 (百万円)	15,296	来期予想	66.5	6.7	—	—
		前期末自己資本比率		88.2%	前期ROE	6.2%

(注)予想はアルファ・ウイン調査部予想

【株価チャート(週末値)3652 デジタルメディアプロフェッショナル】 図表 C



(注) 2018年2月第4週～2019年2月第4週

【パフォーマンス】		
期間	リターン	対TOPIX
1 カ月	21.7%	18.5%
3 カ月	-10.8%	-7.6%
6 カ月	-13.5%	-6.8%
12 カ月	-19.9%	-12.0%

(注) 月末値が基本、1カ月は2/22と1/31との比較

## ディスクレーマー

アルファ・ウインショートレポートは、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社（以下、弊社）が作成したものです。

本レポートの内容は、一般に入手可能な公開情報や事実に基づき、アナリストの取材等を経て分析し、客観性・中立性を重視した上で作成されたものです。また、会社による予想及び判断と、弊社による予想及び判断を区分し、記載するように努めております。

本レポートに掲載された内容は、作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を弊社は負わないものとします。

本レポートの著作権は、弊社に帰属し許可なく、複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

弊社、及び本レポートの作成者等の従事者が、掲載企業の有価証券を既に保有していること、あるいは今後において当該有価証券の売買を行う可能性があります。

本レポートについてのお問い合わせは、電子メール【[info@awincap.com](mailto:info@awincap.com)】にてお願いいたします。但し、お問い合わせに対し、弊社、及び本レポート作成者は、返信等の連絡をする義務は負いません。

PSV20190221